

시민운동의 연대와 소셜 이노베이션

이승훈

시민사회단체연대회의 사무처장

市民運動の連帯と ソーシャル・イノベーション

イ・スンフン

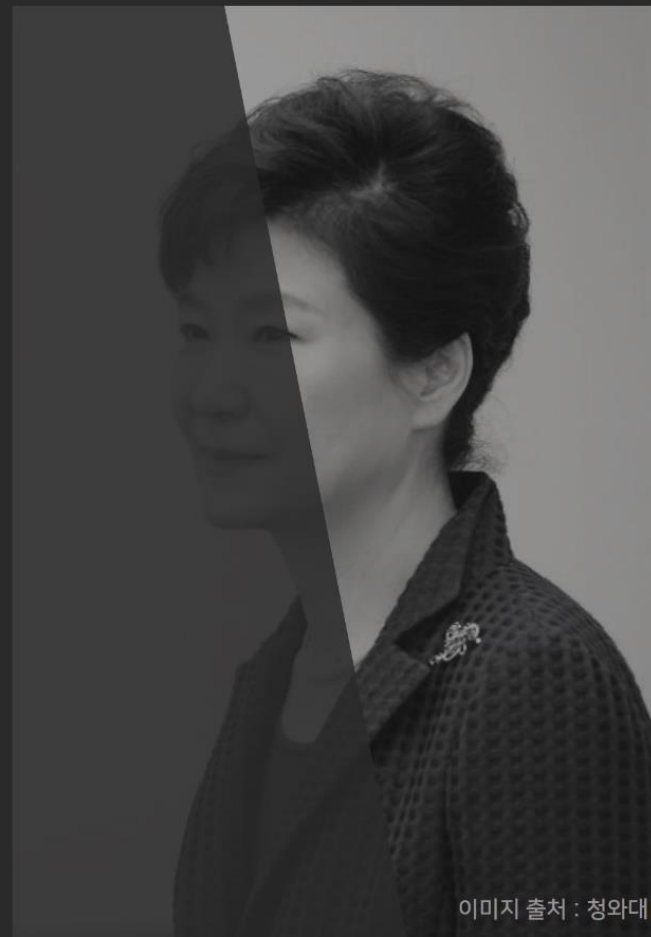
市民社会団体連帯会議 事務処長

SOCIAL

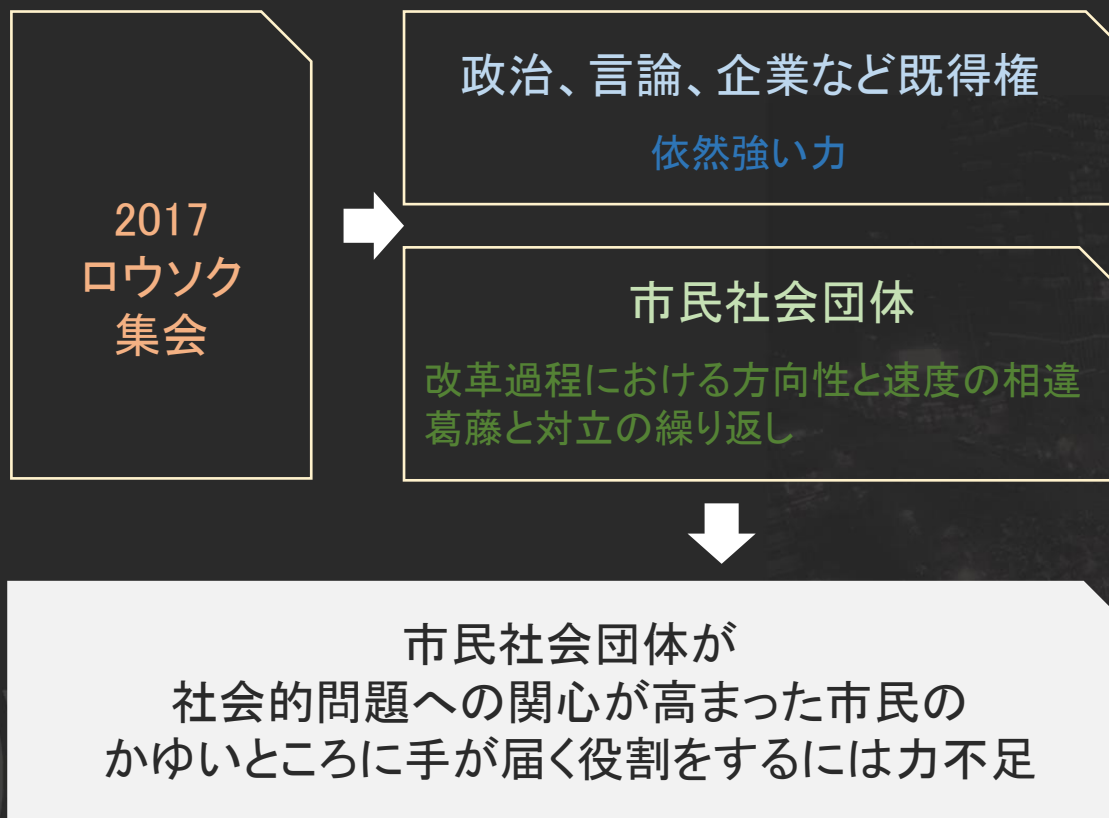
INNOVATION

1. 파크·クネ大統領弾劾以前の 韓国市民社会における内/外の状況

- 2012年国家情報院大統領選挙介入事件
- 2014年セウォル号事件と政府の隠蔽、歪曲
- 2015年韓国歴史教科書の国定化
- 2015年マーズの恐怖とパーク·クネ政権のずさんな対応
- 2016年総選挙:「与小野大」そして議会政治の失踪
- 2016年民衆総決起と故ペク·ナムギ農民事件
- 2016～2017チェ·スンシル国政介入事件



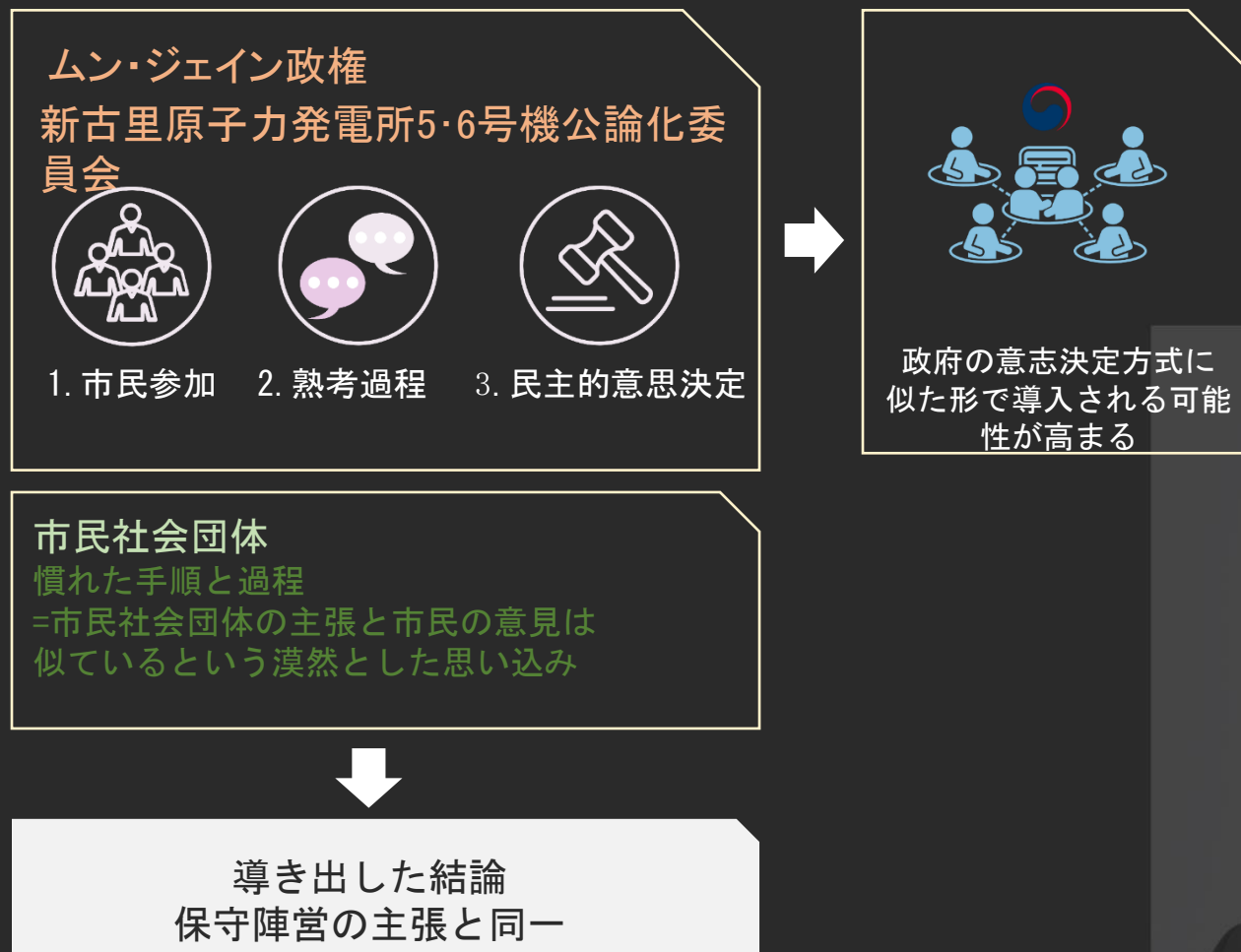
1-2. 現在の韓国市民社会団体を取り巻く外部条件と環境



Solidarity of
Social Movement

SOCIAL
MOTION

1-2. 現在の韓国市民社会団体を取り巻く外部条件と環境



이미지 출처 :청와대

Solidarity of Social Movement
SOCIAL INNOVATION

1-2. 現在の韓国市民社会団体を取り巻く外部条件と環境

多様な政治勢力の参加を保障
する政治構造改編

直接民主主義制度の強化と
時代的变化に伴った憲法改正

不正義の根源地 国家情報院改革

政治的独立のための
司法機関および検察改革

改革主体への期待



ムン・ジェイン
政権

市民運動陣営

Solidarity of
Social Movement
SOCIAL
INNOVATION

2. 現在の韓国市民社会団体内で直面している問題

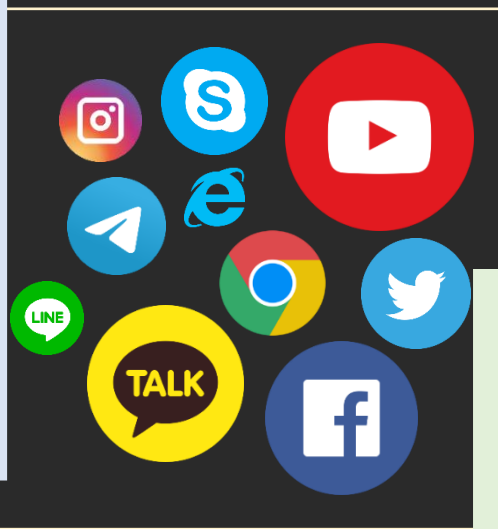
1) 市民社会団体の議題先占能力の弱体化

▲地上波放送及び総合編成チャンネル
時事ポッドキャストやユーチューブ等
情報媒体が生産する膨大なコンテンツ

▲多様なSNSを通じた共有および拡散

▲関心内容の変化

- 政治または統治構造領域への
過剰集中傾向
- 政党または政党の傍系組織に
関連した論点に集中する傾向



△市民社会団体が提起する議題

- 技術的側面での伝達速度が遅い
- 情報の洪水の中で容易に埋もれる



市民社会の議題先占能力の弱体化が加速化
市民運動自体の動力が分散

2. 現在の韓国市民社会団体内で直面している問題

2) 価値分化とさまざまな異見



2. 現在の韓国市民社会団体内部で直面している問題

3) 新しい主体の登場



- 80年代民主化運動以降の世代
- 組織と別個に個人の人生に集中、ワークライフバランス重視
- 組織文化/労働及びジェンダー問題の観点に旧世代との違いが存在

2. 現在の韓国市民社会団体内部で直面している問題

4) その他の問題



職業としての
市民運動経歴認定問題



活動家アイデンティティ
に起因する労働問題



低賃金問題



専門家グループの
市民社会過剰代表性

Solidarity of
Social Movement
SOCIAL
INNOVATION

2. 現在の韓国市民社会団体内で直面している問題

5)そして「連帯」の問題

セウォル号惨事国民対策会議
韓国史教科書国定化阻止ネットワー
パク・クネ政権退陣非常国民運動
公営放送正常化市民行動
新古里5.6号機白紙化市民行動
Me too運動と共にする市民行動
政治改革共同運動
安倍糾弾市民行動
気候危機非常行動
コロナ社会経済危機対応市民社会対策委員会



団体と団体、部門と領域を超越した連帯による解決方法が要求される議題が増加

幅広い連帯を構成せずには対応が難しい議題、特定領域として分類し難いが社会的に重要な議題が存在

「連帯」
=現在の市民社会が直面する問題から新しい代案の提示が可能
良い結果に導くための条件と状況、主体間連帯の原則を守るための努力が必要

2-2. 코로나を通して発見した多様な連帯の可能性

1) コロナに向き合う市民社会団体の問題意識



正確な防疫情報の提供
迅速な国家防疫政策の樹立

=国の危機対応能力は問題解決
において最も重要な要素

国家主導の危機対応能力が
感染症が流行する状況において
完全な市民の安全を保障するわ
けではない

▲人権的視点を通じた国家防疫
政策の死角地帯を把握
▲感染症流行によってもたらさ
れた社会経済的問題および現場
の声
▲市民社会団体が行政に効果的
に伝達
=多層的意味の「安全」確保が
可能

2-2. 코로나を通して発見した多様な連帯の可能性

2)ソウル市と市民社会、コロナ対応のための民官協力班を構成



ソウル市災害安全対策本部民官協力班
=ソウル市の提案で開始

ボランティア、社会福祉、
マウル共同帯領域
= 3月末から活発な活動を展開

各領域別活動
=効率性に基づく高水準の連帯活動
に繋がっていない

領域間情報共有/
必要支援を繋ぐコアの役割が目標



Solidarity of
Social Movement
SOCIAL
INNOVATION

2-2. 코로나を通して発見した多様な連帯の可能性

2)ソウル市と市民社会、コロナ対応のための民官協力チームを構成



ソウル市災害安全対策本部 民官協力チームの構成

1. 行政領域
 - ソウル市民主主義委員会協治担当官、支援官など担当者
2. 民間領域
 - ボランティア領域: 韓国ボランティアセンター
 - 人権領域: ダサン人権センターなど
 - 保健医療領域: 健康社会ネットワークなど
 - 草の根、マウル共同帯領域: 市民ネット、江西市民協力プラットフォームなど
 - 中間支援組織: ソウル市NPO支援センター、ソウル市マウル共同帯総合支援センターなど

2-2. 코로나を通して発見した多様な連帯の可能性

3) 民官協力の趣旨及び課題は何か?



ソウル市防疫対策を含む、災害関連国家政策
=わかりやすく案内→防疫体系が厚く形成されるよう
誘導

「一時停止」に参加できない死角地帯の発掘/
転換と回復のための市民社会との協力が目標

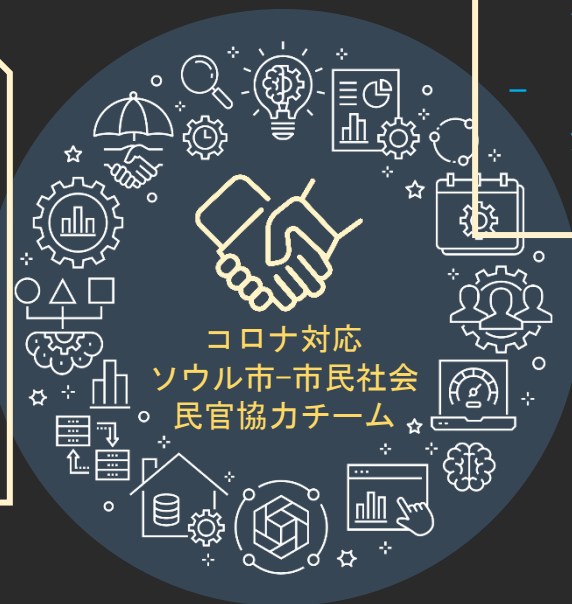


2-2. 코로나を通して発見した多様な連帯の可能性

4)主な活動

1. 防疫および政策死角地帯 発掘のための民間領域懇談会の 開催及び政策提案の取りまとめ

- 非正規労働センター懇談会
- 移住民及び難民関連団体懇談会
- 芸術分野懇談会
- 非営利民間団体被害支援政策の
取りまとめ



2. 코로나関連の 各種情報共有

- オンソウルキャンペーンサイト
及びニュースレター発刊(週1回)
を通じた対応状況の共有
- コロナ克服のための市民社会自
発的キャンペーン事例の収集及
び拡散努力



2-2. 코로나を通して発見した多様な連帯の可能性

5)成果と課題

成果

感染症危機状況における
行政と民間のガバナンス構築
初事例

ソウル市-ソウル所在市民社会団
体が初めて協力の枠組みを構成
感染症危機状況克服のため議論
、実践を推進=意味ある成果

社会的弱者/未登録移住民など
支援死角地帯の発掘および支
援問題を議論
=社会経済的側面での危機克服
を主な議題として扱う
→模範的前例

性的少数者に対する嫌悪と差別
、未登録移住民に関する誤解要
素GPS追跡装置の人権侵害的要
素→民官協力班を通じた問題提
起=行政の是正および政策要素
に反映



2-2. 코로나を通して発見した多様な連帯の可能性

5)成果と課題

課題

感染状況の長期化に対する
細心の備えへの苦心が必要

民間領域の日常的災害ネットワー
ク強化/支援への行政努力が必要

民官協力班主体の介入力強化/
独立的機構の役割を通じた対応
迅速性の強化が必要

K防疫を構成する見えない要素
を政策に引き出すための努力が
必要/
行政の災害関連法制の手直し、
制度づくりが必要

体系的/効率的防疫のための
市民団体との協力構造マニュアル
構築、行政-市民社会の討論必要

災害克服のための市民社会の活
動に協力するために
予算/権限配分ができる制度づく
りの議論を始めることが必要



Solidarity of Social Movement
SOCIAL INNOVATION

3. さまざまな問題に対してどのように連帯するのか?

1) こんな連帯はやめよう



- 当為という慣性に基づいた「連帯のための連帯」

- 十分な同意なく試みる連帯

3. さまざまな問題に対してどのように連帯するのか?

2) 正確な議題対応のための効率的連帯機構を構成するために

- 連帯を希望する当事者達がもつ理解と要求を明確に把握
- 同意された目的の一貫性を維持、動力が分散しないような連帯機構となるよう構成員間で努力
- 連帯目的を達成、または達成できないことが確認された場合直ちに連帯機構を解散

** 成否に関わらず連帯の過程が美しい記憶として残ることは後の連帯のための重要な仕上げである



3. さまざまな問題に対してどのように連帯するのか?

3)次を期することができる連帯のためのいくつかの原則

1. 議題対応のための介入権限を同等に配分
2. 議題対応のための情報へのアプローチを平等に
3. 役割分担過程で役割から排除される構成員が無いように
4. 連帯協力結果の成果から排除される構成員が無いように

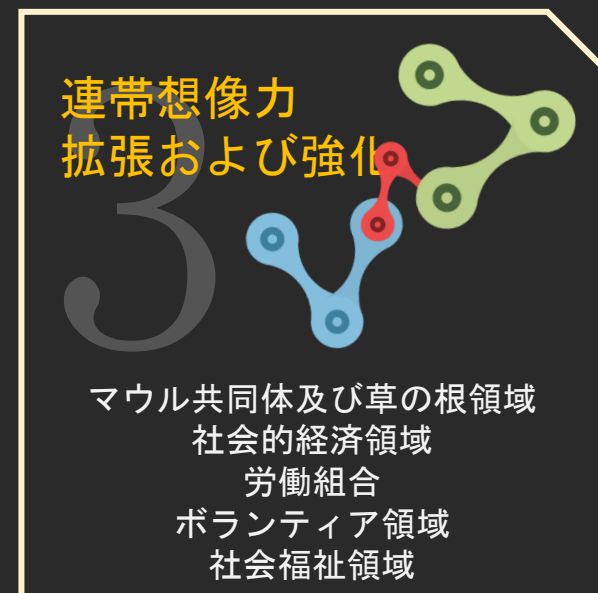
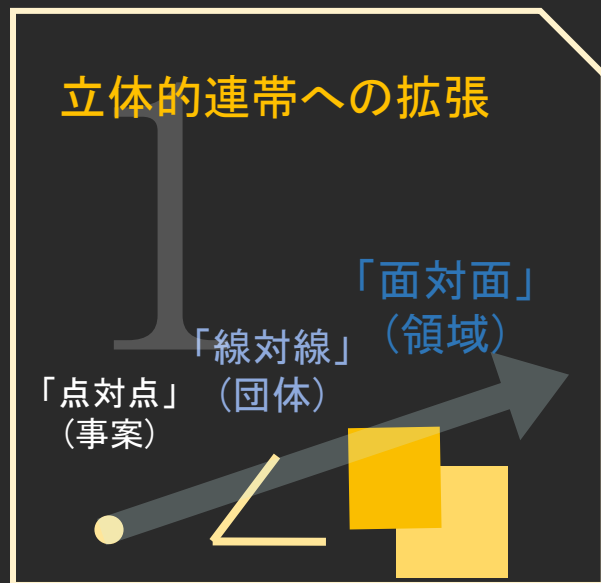


Solidarity of
Social Movement

SOCIAL
INNOVATION

3. さまざまな問題に対してどのように連帯するのか?

4) 連帯の成果を高めるために



3. さまざまな問題に対してどのように連帯するのか?

4) 連帯の成果を高めるために

4

行政とのガバナンス
構築に対する持続的
悩み



I·SEOUL·U


5

「介入する主権者」
市民との出会いに苦悩



6

連帯に対する評価



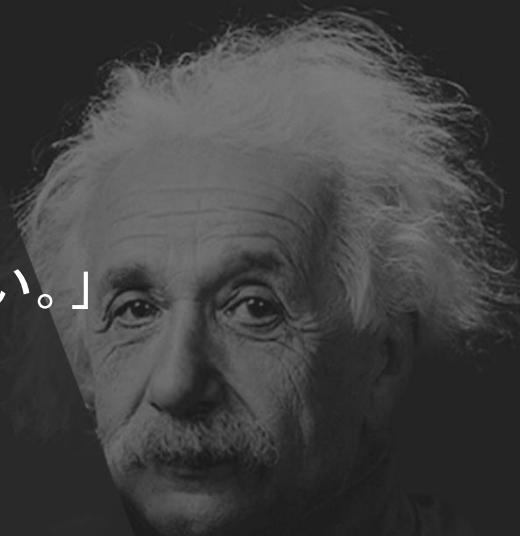
協力過程に対する評価
活動と結果間の因果関係を糾明

“우리가 직면하고 있는 문제는
그 문제가 만들어졌을 때와 같은 사고방식으로 해결할 수 없다.”

Albert Einstein 알베르트 아인슈타인
(1879~1955)

「我々の直面する問題は
その問題をつくったときと同じ考え方で解決することはできない。」

アルベルト アインシュタイン
(1879~1955)



이미지 출처 : 사이언스 뉴스

감사합니다

ありがとうございました

Solidarity of
Social Movement

SOCIAL

INNOVATION